

事業名	バス等振興対策事業費	部局	企画振興部	課・室	交通政策課
		実施期間	S47 ~	E-mail	kotsu@pref.nagano.lg.jp
しあわせ信州創造プラン(総合5か年計画)					
プロジェクト					
施策の総合的展開	5-2 快適で暮らしやすいまちづくり 1 公共交通網の確保				

1 事業の概要

現状 (予算編成時)	○地域交通については、県民の生活の足として重要な役割を担っており、持続可能な交通体系を構築する必要がある一方で、利用者数の減少により乗合バス事業者等の収益の悪化や市町村の財政負担が増加し、継続的な運行に当たって大きな課題となっている。 ○バス・トラック事業者には、小規模事業者が多く、また、経営状況が厳しいこと等から、各業界の協会が中心となり、運輸事業の有効性を高める必要がある。	29年度 決算額	573,113 千円
		職員数	3.00 人
目指す姿	○長寿社会の確かな暮らしを支える地域交通の確保 ・広域的・基幹的な地域間幹線バス路線の確保・維持と利便性を向上させる。 ・市町村と交通事業者等と協働して、地域の実情に即した持続可能な交通体系を構築する。 ○営業用バス・トラックの輸送サービスの改善、安全運行の確保、環境と共生した安全・安心な輸送の確保 (主な実施内容:乗合バス事業者・市町村等の支援、バス協会・トラック協会への助成 など)		

事業	区分(単位:千円)	27年度	28年度	29年度	30年度	指標及びその達成状況						
						No	成果指標	27年度	28年度	29年度		
予算額	前年度繰越	0	0	0	0	No	成果指標	27年度	28年度	目標値	成果	達成状況
	当予算	515,120	574,696	578,945	608,507					①	県民一人当たり公共交通機関利用回数	50.4回/人
補正予算	0	△ 850	0	0	②	地域間幹線バス路線の系統数	29系統	29系統	29系統	29系統	達成	
合計(A)	515,120	573,846	578,945	608,507	③	乗合バスへの低床バス導入率	41.0%	46.6%	64.6%	集計中(12月)	-	
Aの財源	一般財源	507,620	562,858	558,633	573,511	④	営業用トラックの交通事故件数	275件	232件	275件	213件	達成
	県債	0	0	0	0							
	国庫支出金	7,500	7,500	10,750	18,736							
	その他	0	3,488	9,562	16,260							
決算額(B)	514,476	566,723	573,113									
概算人件費	職員数(人)	3.00	3.00	3.00	4.00							
	概算人件費(C)	24,828	24,828	24,831	33,112							
概算事業費(B(A)+C)	539,304	598,674	603,776	641,619								

成果指標設定理由	①公共交通の利用者数を維持するため、県民一人当たり公共交通機関利用回数を成果指標に設定 ②地域間幹線バス路線を維持するため、路線の系統数を成果指標に設定 ③乗合バス車両のバリアフリー化促進のため、低床バス導入率を成果指標に設定 ④営業用トラックの安全運行確保のため、交通事故件数を成果指標に設定
----------	--

目標に対する成果の状況	①公共交通機関利用回数については国の統計数値の公表待ちとなっているが、平成27年度から28年度にかけて若干減少しているものの、目標値は上回っており堅調に推移しているところ。 ②地域間幹線バス路線の維持については29系統を維持し、成果目標を達成した。 ③乗合バスへの低床バス導入率については国の統計数値の公表待ちであるが、平成27年度から28年度にかけて5.6%増となっており、導入率は改善されているところ。 ④営業用トラックの交通事故件数については、安全対策等の実施により213件と目標比62件減少となり、目標を達成した。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施	
	課題	今後の方向性
	地域交通は生活の足として重要な役割を担っているところだが、利用者数の減少等により事業者等の収益が悪化しており、継続的な運行に当たって大きな課題となっている。	信州ナビへのバスロケーションシステム導入やユニバーサルデザインタクシーの導入支援など新たな利用促進施策も行いながら、公共交通の継続的な運行確保に努める。

3 事業を構成する細事業の内容

(単位:千円)

No	プロジェクト No	細事業名	29年度 実施内容(実績)	職員数(人)	29年度		30年度(当初)
					(当初)	(決算)	
1		地域間幹線バス路線確保維持事業費	①地域間幹線バス路線の運行欠損費に対する補助金 ②地域間幹線バス路線で使用するために購入した車両の減価償却費等に対する補助金 ③県がバス車両を購入し、地域間幹線バス路線を運行する乗合バス事業者に貸与	1.25	268,810	263,310	274,373
2		地域交通ベストミックス構築事業費	①市町村が実施する地域交通の見直し等の取組に対する支援 ②市町村等に対する交通アドバイザーの派遣	1.25	8,040	7,708	9,528
3		運輸事業振興助成事業費	長野県バス協会・長野県トラック協会への輸送サービス改善・交通安全対策・環境保全対策等に対する助成金	0.50	302,095	302,095	305,034
4		公共交通乗換案内サイト構築事業					15,972
5		より身近な地域交通として”羽ばたく(TAXI)”PJ					3,600
合計				3.00	578,945	573,113	608,507

事業改善シート附表

事業番号 02 05 01	事業名	バス等振興対策事業費			29年度 実施内容(予定)	29年度 実施内容(実績)	29年度 実施 状況	企画振興部		課・室	交通政策課			<input type="checkbox"/> 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 ■点検			備考 (H28事業 番号)
		細事業 No	細事業名	項目				実施 方法	27年度 当初 (千円)		28年度 当初 (千円)	29年度 要求 (千円)	29年度 当初 (千円)	29年度 補正 (千円)	29年度 決算 (千円)	総合5か年計画 番号	
1	地域間幹線バス路線確保維持事業費	地域間幹線バス路線確保維持事業費補助金	補助金	①路線の確保・維持のため、乗合バス事業者が運行する地域間幹線バス路線の運行欠損費に対する補助を行う(5事業者、29系統) ②バス車両のバリアフリー化推進・老朽化対策のため、乗合バス事業者が購入した低床バスの減価償却費等に対する補助を行う(4事業者、継続24台・新規導入3台) 【補助率：国1/2、県1/2】	①乗合バス事業者が運行する地域間幹線バス路線の運行欠損費に対する補助(5事業者、29系統)を行い、路線の確保・維持を行った。 ②乗合バス事業者が購入した低床バス(4事業者、継続24台・新規導入3台)の減価償却費等に対する補助を行い、バスのバリアフリー化、老朽化対策を行った。	計画通り ○	164,391	205,891	192,810	192,810	0	191,609	5-2.1		H29	・目標設定見直し ・効果的な事例の共有 ・生産性向上の取り組み検討 ・市町村との連携強化	02-05-03
1	地域間幹線バス路線確保維持事業費	県有民営による幹線バス路線確保対策事業	直接	地域間幹線バス路線の基盤強化のため、県がバス車両を購入し、地域間幹線バス路線を運行する乗合バス事業者に貸与する(新規導入3台)	バス車両を購入し、地域間幹線バス路線を運行する乗合バス事業者(4事業者、継続4台、新規導入3台)に貸与することで地域間幹線バス路線の基盤強化を行った。	計画通り ○	38,000	53,000	76,000	76,000	0	71,701	5-2.1				〃
2	地域交通ベストミックス構築事業費	地域交通ベストミックス構築事業	補助金・直接	①持続可能な交通体系を構築するため、市町村等が実施する地域交通の見直し等の取組を支援する(継続2地域、新規選定3地域) 【補助率：県1/2】 ②地域交通の課題解消を促進するため、市町村等に対して交通アドバイザー(3市町村、3人)を派遣した。	①市町村等(継続2地域、新規選定3地域)が実施する地域交通の見直し等の取組を支援した。 ②地域交通の課題解消を促進するため、市町村等に対して交通アドバイザー(3市町村、3人)を派遣した。	計画通り ○	0	4,540	9,040	8,040	0	7,708	5-2.1				02-05-06
3	運輸事業振興助成事業費	運輸事業振興助成補助金	補助金	バス・トラックの安全・安心な輸送の確保を図るため、各協会が行う輸送サービスの改善や安全運行の確保等の取組に対して補助を行う 【補助率：10/10】 ○(公社)長野県バス協会 ①輸送サービス改善 ・路線バス行先表示器のデジタル化 等 ②交通安全対策 ・運転者適正診断、運行管理者講習の実施 等 ○(公社)長野県トラック協会 ①交通安全対策 ・衝突被害軽減ブレーキの導入助成 等 ②環境保全対策 ・アイドリングストップ装置の導入助成 等 ③全国協会への出捐	バス・トラックの安全・安心な輸送の確保を図るため、各協会が行う輸送サービスの改善や安全運行の確保等の取組に対して補助を行った。	計画通り ○	312,729	311,265	311,265	302,095	0	302,095	5-2.1				02-05-04
合 計								515,120	574,696	589,115	578,945	0	573,113			0	